

平成28年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(分野別五十音順)

(交通安全関係)

[個人]

| | |
|-------|---------|
| 市橋弘司 | (警察庁) |
| 相良芳隆 | (警察庁) |
| 塩月章召 | (警察庁) |
| 清水幸和 | (国土交通省) |
| 増田明義 | (警察庁) |
| 南出俊昭 | (警察庁) |
| 山田みち子 | (内閣府) |
| 行正明弘 | (警察庁) |
| 渡辺菊夫 | (内閣府) |

[団体]

| | |
|-----------|-------|
| 桜井交通安全母の会 | (内閣府) |
|-----------|-------|

(学校安全関係)

[団体]

| | |
|-----------------|---------|
| 愛知県知多郡美浜町立布土小学校 | (文部科学省) |
| 大阪府泉南郡岬町立多奈川小学校 | (文部科学省) |
| 高知県立須崎高等学校 | (文部科学省) |
| 静岡県袋井市立浅羽北小学校 | (文部科学省) |
| 富山県射水市立堀岡小学校 | (文部科学省) |
| 奈良県五條市立五條中学校 | (文部科学省) |

(産業安全関係)

〔個人〕

日高 邦彦 (経済産業省)

〔団体〕

住友化学株式会社健康・農業関連事業研究所 (厚生労働省)

東京ガス株式会社袖ヶ浦LNG基地 (厚生労働省)

(火災予防関係)

〔個人〕

川島 毅 (消防庁)

田中 万弘 (消防庁)

田中 廣子 (消防庁)

矢内 カヨ (消防庁)

〔団体〕

一般社団法人北海道消防設備協会 (消防庁)

垂井町女性防火クラブ (消防庁)

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 警 察 庁 |
| 氏 名 | いちはし ひろし 市 橋 弘 司 |
| 住 所 | 東京都文京区 |
| 職 業 等 | 会社役員（三信靴下工業株式会社代表取締役社長） （東京都交通安全協会理事） |
| 功 績 の 概 要 | 昭和52年から39年余の長きにわたり、重大交通事故防止のために街頭交通指導に努めたほか、平成20年からは、富坂交通安全協会会長として住民の交通事故防止のため、自治体等と連携した広報啓発活動、交通街頭活動を推進し、住民等に交通事故防止を呼びかけるとともに実践的指導を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。 |

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 警 察 庁 |
| 氏 名 | さがら よしたか 相 良 芳 隆 |
| 住 所 | 栃木県日光市 |
| 職 業 等 | 会社役員（相良建設株式会社代表取締役） （栃木県安全運転管理者協議会会長） |
| 功 績 の 概 要 | <p>昭和54年から36年余の長きにわたり、事業所の安全運転管理者として運転者等の資質の向上及び安全運転の普及等を図るため、各種交通安全活動に尽力した。</p> <p>また、平成6年4月、安全運転管理者協議会日光地区協議会会長に就任し、組織の牽引役となって積極的な交通安全活動を推進し、運転者等の交通事故防止に多大な貢献をしたほか、栃木県安全運転管理者協議会においても、理事、副会長の要職を経て、平成24年5月には会長に就任し、協議会の発展や各種交通安全活動を活性化させるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| | |
|-----------|--|
| 関 係 省 庁 | 警 察 庁 |
| 氏 名 | しおつき あきたか 塩 月 章 召 |
| 住 所 | 宮崎県西諸県郡高原町 |
| 職 業 等 | 自転車バイク販売業(岩田自転車商会代表) (宮崎県交通安全協会小林地区交通安全協会運営委員) |
| 功 績 の 概 要 | 昭和51年から現在までの39年余の長期にわたり、二輪安全運転指導者として二輪運転者等を対象に安全運転技術の向上及び安全運転意識の醸成に尽力している。また、小林地区交通安全協会の理事として、交通安全教育の推進及び交通安全施設の充実、交通利便の向上等に積極的に取り組み同協会の運営発展に多大な貢献をした。 |

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 国 土 交 通 省 |
| 氏 名 | しみず ゆきかず 清 水 幸 和 |
| 住 所 | 愛知県碧南市 |
| 職 業 等 | 自営業（衣浦マリーナ代表） （主任海上安全指導員） |
| 功 績 の 概 要 | <p>昭和49年8月9日、海上安全指導員に指名され現在に至るまでの約41年間の長期にわたり、ボランティアとして、プレジャーボート等の小型船舶の安全指導を行うとともに、訪船指導の実施及び海難防止講習会へ積極的に参画し、安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と発展に寄与してきた。</p> <p>また、昭和63年には主任海上安全指導員に指名され、現在に至るまで海難防止活動を積極的に推進し、豊富な経験と指導力をもって小型船舶の海難防止思想の普及及び海上安全指導員の育成に多大な貢献を果たしてきた。</p> |

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 警 察 庁 |
| 氏 名 | ますだ あきよし 増 田 明 義 |
| 住 所 | 香川県高松市 |
| 職 業 等 | 会社役員（増田薬品株式会社代表取締役会長） （香川県安全運転管理連絡協議会会長） |
| 功 績 の 概 要 | <p>昭和56年から34年余の長きにわたり、安全運転管理者協議会の運営・活動に携わり、運転者等の資質の向上及び安全運転の普及等を図るため、各種交通安全活動に尽力した。</p> <p>また、平成13年に香川県安全運転管理連絡協議会会長に推挙され就任して以来、円滑な協議会の運営及び事業の推進に寄与するとともに、地域・職域における交通安全活動リーダーとして、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 警 察 庁 |
| 氏 名 | みなみで としあき 南 出 俊 昭 |
| 住 所 | 福井県坂井市 |
| 職 業 等 | 農 業 (坂井交通安全協会丸岡第7分会委員) |
| 功 績 の 概 要 | 昭和35年に運転免許を取得して以来、家業の農業などで毎日自家用車を運転しているが、昭和59年4月以降30年以上の長きにわたり、無事故無違反であり、交通法令遵守及び安全運転に努めているほか、昭和54年からは、地区交通安全協会の役員として、交通安全行事等への参画や、交通広報車による住民への交通事故防止の呼びかけなどの活動に従事し、交通事故防止及び交通安全思想の普及・啓発に大きく貢献した。 |

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| | |
|-----------|--|
| 関 係 省 庁 | 内 閣 府 |
| 氏 名 | やまだ こ 山 田 みち子 |
| 住 所 | 愛知県名古屋市 |
| 職 業 等 | 無職 (愛知県交通安全母の会副会長) |
| 功 績 の 概 要 | <p>昭和42年から現在に至るまで、自宅近くの通学路での街頭指導を行い、交通事故防止に多大な貢献をした。</p> <p>また、地域の交通安全にも積極的に取り組み、老人クラブ等で定期的に交通安全教室を実施し、高齢者の交通事故防止に努めるなど交通安全の推進に尽力した。</p> |

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| | |
|-----------|--|
| 関 係 省 庁 | 警 察 庁 |
| 氏 名 | ゆきまさ あきひろ 行 正 明 弘 |
| 住 所 | 岡山県備前市 |
| 職 業 等 | 二輪販売店経営（ホンダウイング備前社長） （元備前二輪車安全普及協会会長） |
| 功 績 の 概 要 | <p>昭和46年4月、全国二輪車安全運転普及協議会の設立趣旨に賛同し、「備前二輪車安全普及協会」の会員となり、昭和51年4月に同会会長に選任、平成22年11月に相談役に就任した。（組織統合等により「東備二輪車普及安全協会」に名称変更）</p> <p>「二輪車被害の事故をなくしたい」との同会リーダーとして強い自覚と使命感のもと、街頭指導を率先するなど、関係団体等と連携した交通安全活動に取り組んでいる。</p> <p>また、交通安全運動期間中における街頭活動、交通安全教室における実践指導、後継者育成のための講習会の開催など、積極的かつ地道に取り組み、地域における交通事故の抑止と交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をしている。</p> |

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 内 閣 府 |
| 名 称 | わたなべ きくお 渡 辺 菊 夫 |
| 所 在 地 | 広島県東広島市 |
| 職 業 等 | 自営業（酒類小売販売業） （東広島市交通指導員） |
| 功 績 の 概 要 | 昭和47年に西条町交通指導員（後に東広島市交通指導員）となってから現在までの44年間という長期にわたり，早朝街頭指導，街頭広報活動，交通安全教室指導など地域に根付いた活動を継続し，交通安全思想の普及及び啓発に多大な貢献をしている。 |

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

| 関 係 省 庁 | 内 閣 府 |
|-----------|--|
| 名 称 | さくらいこうつうあんぜんははのかい 桜井交通安全母の会 |
| 所 在 地 | 奈良県桜井市 |
| 代 表 者 | しばた ひろみ 会長 柴 田 裕 美 |
| 功 績 の 概 要 | 昭和45年8月、就学児童の母親等による交通安全啓発団体として結成以来、「交通安全は家庭から」をモットーに、市民の交通安全に関する意識を醸成するとともに、各交通安全運動期間等における各種啓発活動を通して交通事故防止の気運を高めるなど交通事故のない安全で安心して暮らせる街づくりのために多大な貢献をした。 |

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 文 部 科 学 省 |
| 名 称 | <p style="text-align: center;">あいちけんちたぐんみはまちょうりつふつとしょうがっこう</p> <p style="text-align: center;">愛知県知多郡美浜町立布土小学校</p> |
| 所 在 地 | 愛知県知多郡美浜町 |
| 代 表 者 | <p style="text-align: center;">たけうち ひろみ</p> <p style="text-align: center;">校 長 竹 内 弘 実</p> |
| 功 績 の 概 要 | <p>学校教育目標である「自ら考えすすんで実践する子ども」を基にして、学校安全にかかわる目標を「命を大切にし、自ら判断し行動する児童の育成」とし、学校、家庭、地域との連携で学校安全体制の推進を図っている。</p> <p>○災害安全；「布土小学校防災計画」による、地震防災教育を核とした避難訓練、保護者・地域と連携した学区防災訓練、校内安全対策、総合的な学習での防災学習</p> <p>○生活安全；各教科・領域での安全学習、地域と連携した「いきいきあいさつ運動」や「ふれあい歩行」、「見守り活動」</p> <p>○交通安全；通学班による集団登校や通学団会の実施、通学路の自転車訓練など、学校安全の推進に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 文 部 科 学 省 |
| 名 称 | <p style="text-align: center;">おおさかふせんなんぐんみさきちょうりつたながわしょうがっこう</p> <p style="text-align: center;">大阪府泉南郡岬町立多奈川小学校</p> |
| 所 在 地 | 大阪府泉南郡岬町 |
| 代 表 者 | <p style="text-align: center;">たけうち あつこ</p> <p style="text-align: center;">校 長 竹 内 敦 子</p> |
| 功 績 の 概 要 | <p>「地域とつながり育つ子ども」をめざし、学校を地域に開くことによって双方が「顔見知り」になり、校内や登下校のみならず帰宅後も地域内での安全・防犯に寄与する環境を構築。また、安全集会や安全教室を地域の方と定期的に行うことにより、児童の安全に対する認識を深め、学校内外の生活に安心感や落ち着きをもたらした。</p> <p>○校庭の芝生化による「転んでもけがをしないオアシスのような広場」を実現、地域の協力のもと全児童の草引きや委員会での芝生刈り等、快適な芝生を維持。</p> <p>○校内に保育所を併設し、火災・地震津波・防犯の避難訓練を幼児と共に行うことで、避難時のリーダー性や安全意識の醸成など、学校安全の推進に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

| | |
|-----------|--|
| 関 係 省 庁 | 文 部 科 学 省 |
| 名 称 | こうちけんりつすさきこうとうがっこう 高知県立須崎高等学校 |
| 所 在 地 | 高知県須崎市 |
| 代 表 者 | あきもり まなぶ 校 長 秋 森 学 |
| 功 績 の 概 要 | <p>教育重点目標の一つに「防災・減災教育の推進」を掲げ、地域と連携し南海トラフ地震に備えた防災・減災教育に重点的に取り組み、将来防災リーダーとして地域に貢献できる生徒の育成を目指している。防災LHの実施や「南海地震フォーラム」の開催等、組織的、計画的な実践が行われている。</p> <p>○校内安全点検を皮切りに、須崎市と「のこそう未来の須崎～防災・減災パートナー協定」を締結し、地域と連携した取組を積極的に推進。</p> <p>○高知県実践的防災教育推進事業の拠点校として、生徒有志による「防災プロジェクトチーム」を発足、生徒を中心としたより主体的な防災活動ができる組織づくりなど、学校安全の推進に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 文 部 科 学 省 |
| 名 称 | しずおかけんふくろいしりつあさばきたしょうがっこう 静岡県袋井市立浅羽北小学校 |
| 所 在 地 | 静岡県袋井市 |
| 代 表 者 | はなじま よしひさ 校 長 花 嶋 芳 久 |
| 功 績 の 概 要 | <p>教育目標「自立」に向け、「はばたけ 光と大地の子」をスローガンに「気づき・考え・実行する子」を経営目標としている。これらの目標を達成し、児童が生き生きと学校生活を送るためには、「心身の健康づくり」と「安心・安全づくり」が不可欠である。そこで、教職員一同、共通理解の下で様々な教育活動に取り組んでいる。</p> <p>○生活安全指導を徹底することで児童の安全に対する意識の向上に努め、青少年赤十字活動や安全に関わる学校行事等の充実を図り実践力を育成。また、情報社会で生きていくための安全指導も実施。</p> <p>○P T Aや地域、各種組織との連携・協力による学校安全体制の構築。</p> <p>など、学校安全の推進に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 文 部 科 学 省 |
| 名 称 | とやまけんいみずしりつほりおかしょうがっこう 富山県射水市立堀岡小学校 |
| 所 在 地 | 富山県射水市 |
| 代 表 者 | おの でのら のぶこ 校 長 小野寺 信 子 |
| 功 績 の 概 要 | <p>学校教育目標「心豊かで、たくましく生きる子供の育成」のもと、生命の尊さを自覚し、自他の安全に配慮しながら自ら安全な行動をとる能力や態度を育てることを目指し、全教育活動を通して、地域や関係機関と連携を図り安全教育を行っている。</p> <p>○安全教育の実践では、文部科学省モデル校として設置した「緊急地震速報受信システム」の活用、様々な場面設定や地域住民や近隣の保育園との地震・津波避難訓練など、児童や教職員の主体的判断による行動力を身に付ける工夫を実施。</p> <p>○安全メールを活用した情報共有、ホームページや学校だよりによる情報発信など、地域やPTA等と緊密に連携。</p> <p>など、学校安全の推進に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

| | |
|-----------|--|
| 関 係 省 庁 | 文 部 科 学 省 |
| 名 称 | <small>ならけん ごじょうしりつ ごじょうちゅうがっこう</small> 奈良県五條市立五條中学校 |
| 所 在 地 | 奈良県五條市 |
| 代 表 者 | <small>うえむら まさのり</small> 校 長 上 村 雅 則 |
| 功 績 の 概 要 | <p>学校教育目標『知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい生徒の育成』のもと、安全教育の目標である『生徒の健康や安全を守り、危機に的確に対応できる生徒の育成』の実現を目指し、生徒が自主的な判断のもとに的確な行動ができる技能や態度を育成するために、切実感を持ってより実践的に取り組む「避難訓練」や、安全意識の向上を図るための「教職員研修」、家庭・地域との積極的な連携を図る取組として「災害経験聞き取り調査」「家族防災会議」「生徒引き渡しカードの作成」「防災教育宿泊訓練の実施」などを計画的に実施することにより、安全教育、特に防災教育の推進など、学校安全の推進に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 経 済 産 業 省 |
| 氏 名 | ひだか くにひこ 日 高 邦 彦 |
| 住 所 | 東京都江戸川区 |
| 職 業 等 | 東京大学（大学院工学系研究科）教授 （経済産業省日本工業標準調査会委員） |
| 功 績 の 概 要 | <p>電気保安が特に重要となる高電圧分野において、世界を代表する専門家として、</p> <p>○大学で電気保安等に資する研究活動に従事し多大な成果を収めるとともに、多くの優秀な人材を輩出し、また我が国の電気技術の国際標準化においても大きな功績を残した。</p> <p>○官公庁の審議会および民間規格を策定する委員会に委員長等として参加し、電気保安に資する基準・規格の制定等に尽力し、卓越した見識と指導力により電気保安技術の向上、普及に中心的な役割を果たした。</p> <p>など、研究活動の主導および我が国の電気保安の向上に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 厚 生 労 働 省 |
| 氏 名 | すみともかがくかぶしがいいしゃけんこう・のうぎょうかんれんじぎょうけんきゅうしょ 住友化学株式会社健康・農業関連事業研究所 |
| 所 在 地 | 兵庫県宝塚市 |
| 代 表 者 | さかもと のりやす 所長 坂 本 典 保 |
| 功 績 の 概 要 | 模範的事業場として実効ある安全衛生管理体制を整備するとともに、創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動を通じ、昭和 61 年 6 月以来 30 年にわたり無災害を継続しているなど、労働災害の防止及び産業安全の向上に多大な貢献をした。 |

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

| | |
|-----------|--|
| 関 係 省 庁 | 厚 生 労 働 省 |
| 氏 名 | とうきょう かぶしがいいしゃ そでがうら きち 東京ガス株式会社袖ヶ浦LNG基地 |
| 所 在 地 | 千葉県袖ヶ浦市 |
| 代 表 者 | ほり てつや 所長 堀 哲 也 |
| 功 績 の 概 要 | 模範的事業場として実効ある安全衛生管理体制を整備するとともに、全労働者が安全衛生活動に積極的に取り組むことを通じ、昭和60年2月以来31年にわたり無災害記録を継続しているなど、労働災害の防止及び産業安全の向上に多大な貢献をした。 |

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 消 防 庁 |
| 氏 名 | かわしま たけし 川 島 毅 |
| 住 所 | 東京都文京区 |
| 職 業 等 | 会社役員（毎夕新聞印刷株式会社代表取締役会長） （本郷予防安全会会長） |
| 功 績 の 概 要 | <p>自主防火管理の重要性を深く認識し、昭和53年6月13日に本郷防火管理研究会に入会し、平成3年4月24日から副会長、平成8年4月22日から会長を務め、長年にわたり会の円滑な運営と発展に寄与した。</p> <p>平成18年6月1日に、本郷防火管理研究会と本郷危険物安全会が統合して発足した本郷予防安全会の会長に就任し、以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の発展に寄与するとともに、自主防火管理及び危険物の安全管理の普及・啓発に尽力している。</p> <p>会員事業所の信頼も厚く、地域の安全・安心の推進に大いに貢献している。</p> |

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 消 防 庁 |
| 氏 名 | たなか かずひろ 田 中 万 弘 |
| 住 所 | 福岡県筑後市 |
| 職 業 等 | 自営業（合名会社田中プロパン代表取締役） （筑後市防災協会顧問兼理事） |
| 功 績 の 概 要 | <p>昭和63年筑後市防災協会理事に就任以来、永年にわたり筑後市防災協会の役員として防災思想の普及啓発、安全で安心できる地域社会づくりを目指し、危険物・LPGの保安の確保に尽力されている。</p> <p>また、平成10年6月に副会長、平成16年6月には会長に就任。以来、例年の会員加入推進においては、氏の人格人望により多数の他業種事業所にも防災協会の趣旨、活動の理解が得られており、会員数の増加等を図り筑後市防災の発展に寄与した。</p> |

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 消 防 庁 |
| 氏 名 | たなか ひろ こ 田 中 廣 子 |
| 住 所 | 広島県呉市 |
| 職 業 等 | 無職 (広島県女性防火クラブ連絡協議会会長) |
| 功 績 の 概 要 | <p>昭和57年に塩焼女性消防クラブが発足してから、地域での防火活動に積極的に参加し、平成12年には同クラブ会長及び広島県女性防火クラブ連絡協議会の副会長に就任。就任後は、そのリーダーシップを遺憾なく発揮し、防火・防災の啓発活動に積極的に取り組み、特に住宅用火災警報器の設置促進については、設置率の向上に努める等、地域の防火思想の普及に多大な貢献をしている。</p> <p>平成24年には広島県女性防火クラブ連絡協議会の会長に就任以降、更なる地域の防災力向上に向けて牽引者として、その功績は誠に顕著であり、他の模範である。</p> |

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

| | |
|-----------|---|
| 関 係 省 庁 | 消 防 庁 |
| 氏 名 | やない 矢 内 カ ヨ |
| 住 所 | 群馬県伊勢崎市 |
| 職 業 等 | 自営業（矢内寝装店） （伊勢崎市女性防火クラブ会長） |
| 功 績 の 概 要 | <p>平成2年4月、伊勢崎市婦人防火クラブ設立と同時に入会し副会長、平成10年4月には会長に就任。豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。さらに、市町村合併により旧町村の各防火クラブを統合し、伊勢崎市女性防火クラブとなってからも引き続き会長に就任し、卓越した統率力と行動力で会を牽引するにとどまらず、消防団とも連携し防火思想の普及・啓発に尽力した。</p> <p>また、群馬県婦人（女性）防火クラブ連絡協議会においても、持ち前の深い説得力と充実した気配りで、自らが県内各地区防火クラブの掛け橋となり、群馬県の消防・防災の指導者として活動し、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

| | |
|-----------|--|
| 関 係 省 庁 | 消 防 庁 |
| 名 称 | いっばんしゃだんほうじんほっかいどうしょうぼうせつびきょうかい 一般社団法人北海道消防設備協会 |
| 所 在 地 | 北海道札幌市 |
| 代 表 者 | や ぎ た け ま 理事長 八 木 健 眞 |
| 功 績 の 概 要 | <p>消防用設備等の設置及び維持管理を通じて建築物の防火安全を推進、火災予防とその被害を軽減、安心・安全な街作りに貢献し、社会公共の福祉増進に寄与することを目的として昭和46年7月の発足以来、45年の永きにわたり北海道内の火災予防の一翼を担う団体として多大な貢献をしている。</p> <p>道内の拠点都市に8支部を設置し、支部の事業活動を通じて、消防用設備等設置・維持の適正化、消防設備等関連業務に携わる消防設備士、消防設備点検資格者等の育成指導、資質の向上等、防火対象物関係者への啓発、火災予防思想の普及など、防火安全の徹底と地域住民に対する防火、防災意識の高揚に大きな役割を果たした。</p> |

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

| | |
|-----------|--|
| 関 係 省 庁 | 消 防 庁 |
| 名 称 | たるいちょうじょせいぼうか 垂井町女性防火クラブ |
| 所 在 地 | 岐阜県不破郡垂井町 |
| 代 表 者 | くりた いみこ 会 長 栗 田 伊美子 |
| 功 績 の 概 要 | 町内全家庭における火災予防の推進と防火思想の普及徹底を目的に昭和46年4月10日結成以来、火災予防、初期消火活動の重要性を認識し、住宅用火災警報器の普及に尽力するとともに、高齢者世帯に対する防火思想の高揚と、同町の火災の減少に多大な貢献をしている。 |